

授業概要

現在のような交通機関が発達したグローバル化社会では、英語は必須のコミュニケーション・ツールである。英語能力を向上させることは、自立した共生社会で不可欠である。英語の基礎は、「読む」「聴く」「書く」「話す」の四技能ともに文法である。この英語の文法の基礎を包括的かつ、組織的に学ぶ。各章で文法事項を学んだ後に、各々練習問題を解いて、確実に新知識を定着させ、英語の四技能を涵養する。学生は各々の授業出席にあたって、予習と復習が不可欠である。

授業計画

第1回	比較
第2回	比較
第3回	動詞
第4回	動詞
第5回	時制
第6回	時制
第7回	助動詞
第8回	助動詞
第9回	準動詞
第10回	準動詞
第11回	仮定法
第12回	仮定法
第13回	態
第14回	態
第15回	秋学期末テスト（評価）

履修上の注意

毎時間の予習・復習が不可欠である。毎時間紙の（アナログの）辞書を持参すること。電子辞書は認めない。30分以上の遅刻は欠席扱いとする。遅刻3回で1回分の欠席とカウントする。単位の取得には、2/3以上の出席が必要である。順次復習のための小テストを実施する。

評価方法

秋学期末試験、小テスト、出席点、発表点、授業中の態度、授業貢献度、宿題、レポートの総合評価である。

テキスト

『英文法研究』西田義和著（文化書房博文社）定価 1751 円